

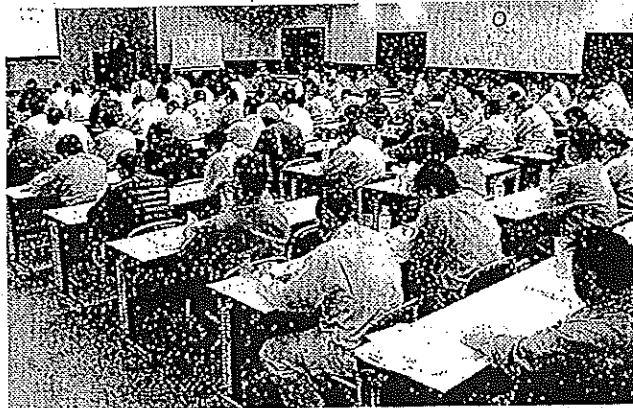
リーダーシップ発揮へ

室蘭建協が実務講習会

【室蘭】室蘭建設業協会(秋代会長)は24日、2013年度第2回建設実務講習会を室蘭建設会館で開いた。会員各社の技術職員ら122人が参加し、現場運営でも重視されるリーダーシップとコミュニケーションについて理解を深めた。講師を務めた中野会計事務所の中野幸一代表は「企業にとってのリーダーシップとは、会社存続

の目的達成に向け自分では解決できないことに対処するため、できる人を動かして解決するために発揮するもの」と定義付けた。

そのリーダーシップを発揮する会社のキーマンが「実は社長ではなく、現場を知り尽くした技術畑上がりの常務、というケースもある」と提起。また、コミュニケーションを取る上でのポイント



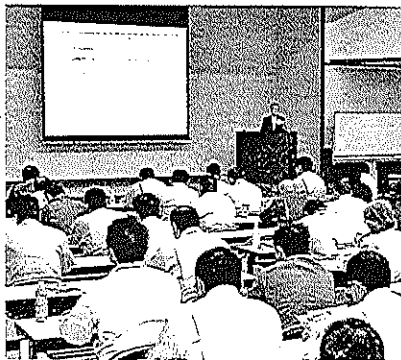
ト、留意点を説き「相手への共感がコミュニケーション力を高めるベースに

現場管理にも生かせる知識を得た。なる」と唱えた。講習ではこのほか、北電の担当者らが施工中の感電やライフライン事故対策を説明し、予防を要請。経済調査会の市川啓次郎技術顧問は、会計検査院の指摘事例を取り上げ、施工不良や設計不適切の改善策を解説した。

室蘭建協が実務講習会

120人参加し研鑽積む

リーダーシップの重要性など



かけ、仕事をす
る上で「コミュニ
ケーションがい
かに重要である
かを訴えた。

続いて、北海
道電力㈱室蘭電
力センター送電
課の錢目聡氏と
同室蘭支店配電
グループの萩澤
裕治氏が施工中におけるラ
イフライン事故対策につい

【室蘭発】一般財団法人
室蘭建設業協会（秋済会
長）は二十四日、室蘭建設
会館で第二回建設実務講
習会を開催した。写真。会
員ら約百二十人が参加。
リーダーシップの重要性や
ラフライン事故の対策、
施工不良、設計不適切の改
善策などを学んだ。

はじめに、税理士法人中
野会計事務所の中野幸一氏
が「リーダーシップとコミ
ュニケーション」と題して
講話。中野氏は「リーダー
シップは、目的ではなく、
手段であり、本心に必要な
コミュニケーションは解決でき
ない問題を組織的に解決し
ていく」と説明す
る。また、リーダーシッ
プの機能について「旗振り
機能」「盛り上げ機能」「仕
掛け機能」の三つを示し
た。「コミュニケーションに
ついては」会社は仕事と人
間関係の両方「ないと呼び

て講話。送電線や配電線で
発生した事故の事例を紹介
し、作業する際の安全対策
などを説明した。

このあと、一般財団法人
経済調査会技術顧問の市川
啓次郎氏が「会計検査の指

摘事例から学ぶ施工不良、
設計不適切の改善策」につ
いて講話。参加した会員ら
は熱心に耳を傾け、必要な
知識を身に付けていた。